

4. 参考資料

(1) 調査票

①保護者向け調査

横浜市 子どものいる世帯の生活状況等に関する調査 保護者向け調査 調査票

< 調査ご協力 のお願い >

みなさまには、日ごろから横浜市へご協力をいただきありがとうございます。
横浜市では、子育てしやすい環境づくりや、子ども・青少年の健全な成長などに関する様々な取組を行っています。今後、より効果的な取組を進めていくため、子ども・青少年施策の計画の策定や支援策の充実などのため、本市の支援制度や事業を利用されている方々から、日ごろの暮らしやお子さんの様子、子育てに感じている悩みや、充実を期待する支援策等について、直接ご意見を伺うアンケート調査を実施させていただきます。

このアンケート調査は、保護者様にご回答いただくもののほか、お子さん自身の学校生活やお考えについてお伺いするアンケート調査も同封しておりますので、中学生・高校生のお子さんがいらっしゃるご家庭につきましては、保護者様のご判断により、調査票と返信用封筒をお子様へお渡しくださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた内容は、計画内容の検討や支援施策の充実に向けた検討に活用させていただきます。ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

※このアンケート調査は、横浜市的生活・子育てを支援する事業を利用している方にご協力をお願いしています。万が一、同様の調査票をお受け取りになった際は、どれか1つの調査票についてご回答ください。

平成27年8月 横浜市子ども青少年局

< 調査について >

回答は、回答欄に数字や文章等を記入するものと、回答の数字を○で1つまたは複数囲むものがあります。設問の指示に沿ってお答えください。お忙しいところ誠に恐縮ですが、8月28日(金)までに同封の返信用封筒にてご返送いただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。(切手を貼る必要はありません)

【ご回答いただいた調査票は、上記の目的以外に使用することはありません。】

この調査に関する御意見・お問い合わせは、

横浜市子ども青少年局企画調整課へ御連絡ください。

電話：045-671-4281 FAX：045-663-8061 E M A I L：kd-kikaku@city.yokohama.jp

あなたの世帯のことについておたずねします

※あなたの世帯について、平成27年4月1日現在の状況をお教えてください。在学等の状況についても、平成27年4月1日時点でお考えください。

※世帯とは、普段住居を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含みます。また、病院・診療所に入院している人も含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

問1 この調査に回答いただいている方（あなた）の、子どもからみた続柄についてお教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他（具体的に： ）

問2 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。（人数を口の中に記入してください）

世帯員人数(あなたを含めて)	<input type="text"/>	人
----------------	----------------------	---

問3 あなたの世帯に含まれる方全員について、該当する区分欄ごとに人数を教えてください。（それぞれ人数を口の中に記入してください）

子どもの人数						
小学校 に入学する 前	小学生	中学生	高校生	大学、短大 専門学校等	就 職	その他
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

その他の世帯員の人数				
あなたの配偶者	あなたの父	あなたの祖父	あなたの兄弟姉妹	その他
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

問4 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

※この調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離別、未婚などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、20歳未満の子どもを育てている世帯とします。

※単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学などのため、一時的に別居している場合は除きます。また法律上の婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合も「ひとり親世帯」からは除かれます。

※法律上の離婚にまでいたっていないが、離婚に向けて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

1. 該当しない 2. 該当する（死別） 3. 該当する（離婚）
 4. 該当する（未婚） 5. 該当する（別居） 6. 該当する（その他： ）

あなたのことについておたずねします

問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない

問6 あなたは、現在収入をとまなう仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. している (ひとつの仕事をしている) 2. している (複数の仕事をしている) 3. していない

→ (問6-2-1へ)

(問6-1-1と問6-1-2は、現在、収入をとまなう仕事を「している」方におたずねします)

問6-1-1 現在の仕事の就業形態は次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの方は、主な仕事について、1つだけに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 嘱託・契約社員・準社員・臨時職員 | 4. 人材派遣会社の派遣社員 |
| 5. 自営業主 (商店主・農業など) | 6. 自家営業の手伝い |
| 7. その他 () | |

問6-1-2 現在の仕事からの年間の所得 (税込み、賞与分も含む) は大体いくらぐらいですか。
また、残業時間等を含めた一週間あたりの平均就業時間は何時間ぐらいですか。
それぞれ口の中にご記入ください。

※自営業主の方などの所得については、収入から必要経費を差し引いた所得金額を記入してください

年間の所得 約	<input type="text"/>	万円	一週間あたりの平均就業時間 約	<input type="text"/>	時間
---------	----------------------	----	-----------------	----------------------	----

⇒引き続き、問7以降にお答えください

(問6-2-1～問6-2-3は、現在、収入をとまなう仕事を「していない」方におたずねします)

問6-2-1 あなたは現在働きたいと思っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 今すぐに働きたい 2. 今は働けないがそのうち働きたい 3. 働きたいと思わない

→ (問7以降へ)

問6-2-2 今すぐ働きたいと思われているのに、働いていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事の探し方がわからない
2. 収入について条件のあう仕事がない
3. 時間について条件のあう仕事がない
4. 年齢制限のため仕事がない
5. 仕事に必要な専門知識や資格がない
6. 子どもの保育の手だてがない
7. その他 ()

問6-2-3 どのような状況になれば働きたいと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの保育の手だてができれば
2. 子どもが小学校に入学したら
3. 子どもの問題 (健康など) が解決したら
4. 自分自身の問題 (健康など) が解決したら
5. 学校や職業訓練などが終了したら
6. 仕事に必要な資格や技能を身につけたら
7. その他 ()

⇒引き続き、問7以降にお答えください

問7 あなたは、過去1年間で、病気・障害等に関する次のような経験がありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 病気・障害等が原因で1週間以上入院していた | |
| 2. 病気・障害等が原因で連続して1週間以上仕事を休んでいた | |
| 3. 病気・障害等が原因で仕事をやめた | 4. 気分がひどく落ち込んでいた |
| 5. なかなか眠れないことがあった | 6. いずれも経験していない |

問7-1 (問7-1は、問7で、1. ~ 3. のいずれかを回答した方にうかがいます)

差し支えない範囲で、病名や障害の種類についてお教えてください。

問8 あなたは、過去1年間に次のようなことを経験しましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|-------------|------------------|-------|
| 1. 横浜市内での転居 | 2. 横浜市外から横浜市への転居 | 3. 離職 |
| 4. 転職 (1回) | 5. 転職 (2回以上) | 6. 離婚 |
| 7. 配偶者との死別 | 8. いずれも該当しない | |

問8-1 (問8-1は、問8で、1. ~ 7. のいずれかを回答した方にうかがいます)

上記のような変化に伴い、困ったことや、問題になったこと、あるいは、それまでにはできていたことができなくなったことなどがあれば、その内容についてお教えてください。

問9 あなたは、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. あなたの両親が離婚した | 2. あなたが成人する前に母親が亡くなった |
| 3. あなたが成人する前に父親が亡くなった | 4. あなたが成人する前の生活は経済的に困っていた |
| 5. 親から暴力を振るわれたことがある | 6. 親と疎遠になっている (なっていた) |
| 7. 親の介護が負担になっている (なっていた) | 8. 配偶者または元配偶者から暴力を振るわれたことがある |
| 9. 配偶者または元配偶者に暴力を振るったことがある | 10. 上記のいずれも経験したことがない |

問10 あなたの最終学歴は以下のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 中学校卒業 | 2. 高等学校中退 |
| 3. 高等学校卒業 | 4. 高専、短大、専門学校等中退 |
| 5. 高専、短大、専門学校等卒業 | 6. 大学中退 |
| 7. 大学卒業 | 8. 大学院中退 |
| 9. 大学院修了 | 10. その他の教育機関中退 |
| 11. その他の教育機関卒業 | 12. その他 () |

問11 あなたには、現在心おきなく相談できる相手がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 相談できる相手がいる 2. 相談相手がほしい 3. 必要ない ⇒問12以降へ

問11-1 (「相談できる相手がいる」または「相談相手がほしい」とお答えの方)にうかがいます)

その相談相手は誰ですか、また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親・親族 | 3. 子ども |
| 4. 友人・知人 | 5. 隣人・地域の人 | 6. 幼稚園・保育所の先生 |
| 7. 学校の先生 | 8. カウンセラーなどの専門家 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 10. 区役所など公的機関 | 11. 民間団体やボランティア | 12. その他() |

⇒引き続き、問12以降にお答えください

18歳未満の子どものことなどについておたずねします

問12 子どものことについて、現在悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない
- 子どもに対するしつけや教育について、相談する相手がない
- 配偶者が子育てにあまり協力してくれない
- 配偶者と子育てのことで意見が合わない
- 子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など)が身についていない
- 子どもが勉強しない
- 子どもの進学や受験のことが心配である
- 子どもの就職のことが心配である
- 子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない
- 子どもが何事に対しても消極的である
- 子どもが良い友人関係を持てない
- 子どもの身体の発育や病気が心配である
- 子どもの非行や問題行動が心配である
- 子どもの教育費のことが心配である
- 子どもに十分な食事や栄養を与えることができていない
- その他()
- 特に悩みはない

問13 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、子どもが必要とする文具や教材が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくあった 2. ときどきあった 3. ほとんどなかった 4. まったくなかった

問14 あなたの世帯では、経済的な理由により、子どもに進学を諦めさせたり学校を中退させたりしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. ある
2. これまでにはないが、今後その可能性がある
3. これまでになく、今後もその可能性はない(可能性は低い)

問15 あなたの世帯では、過去1年間に、子どもについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(「ある」場合には、その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ない(病院や診療所を受診したほうがよいと思った場合は、必ず受診した)
2. ある(病院や診療所に行く時間がなかったため)
3. ある(身体上の理由で、病院や診療所まで行くことが困難であったため)
4. ある(病院や診療所までの距離が遠く、通院することが困難であったため)
5. ある(公的医療保険に加入しておらず、医療費を支払うことが難しいため)
6. ある(公的医療保険に加入はしていたが、医療費を支払うことが難しいため)
7. ある(その他の理由・具体的に：)

問16 子どもは、現在習い事等をしていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 学習塾 | 2. 通信教育 | 3. 英会話 |
| 4. 習字・そろばん | 5. 音楽・絵画 | 6. スポーツ・ダンス |
| 7. その他 () | | 8. 特に行っていない |

問17 学生ボランティア等による、無料の学習支援制度(学習の手助けなど)があった場合、利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 現在利用している | 2. 今後利用したいと思う | 3. 利用するつもりはない |
|-------------|---------------|---------------|

問18 子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2. 低い家賃で住める場所(寮や下宿のようなところ)
3. 生活や就学のための経済的補助
4. 進路や生活などについてなんでも相談できる場所
5. 仲間と出迎え、一緒に活動できる場所
6. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供
7. 地域における子どもの居場所の提供
8. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
9. 会社などでの職場体験等の機会
10. 仕事に就けるようにするための就労に関する支援
11. その他 ()
12. 特にない
13. よくわからない

現在の暮らしの状況についておたずねします

問19 現在のお住まいの地区についてお教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 鶴見区 | 2. 神奈川区 | 3. 西区 | 4. 中区 |
| 5. 南区 | 6. 港南区 | 7. 保土ヶ谷区 | 8. 旭区 |
| 9. 磯子区 | 10. 金沢区 | 11. 港北区 | 12. 緑区 |
| 13. 青葉区 | 14. 都筑区 | 15. 戸塚区 | 16. 栄区 |
| 17. 泉区 | 18. 瀬谷区 | | |

問20 現在の住居の状況についてお教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| 1. 持家 | 2. 市営・県営住宅 | 3. 公社・公団(UR)の賃貸 |
| 4. 社宅 | 5. 借家 | 6. 間借 |
| 7. その他(具体的に:) | | |

問21 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------|----------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. 普通 | 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい |
|-------------|-------------|-------|----------|----------|

問22 あなたの世帯では、昨年1年間(平成26年1月1日～12月31日の期間)で、次のような形での所得はありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|---------------|---------------|------------------|
| 1. 親・親族からの仕送り | 2. 元配偶者からの養育費 | 3. 遺族基礎年金・遺族厚生年金 |
| 4. 生活保護 | 5. 児童扶養手当 | 6. いずれも該当しない |

問23 あなたの世帯の昨年1年間(平成26年1月1日～12月31日の期間)の所得の合計(税込み)はいくらですか。(金額を回答欄の中にご記入ください)

※世帯とは、普段住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。世帯員全員の分を合わせてお考えください。

※働いて得た所得だけでなく、各種手当を含めた金額を教えてください。なお、手当が支給されている方は、年間の支給額になります。1年分の金額を計算して記入してください。

(例: 毎月支給のある方は、1か月の支給額×12か月分になります)

世帯員全員の年間の所得の合計(税込み)	万円
---------------------	----

必要な支援等についておたずねします

問24 あなたが現在必要としていること、重要だと思ふ支援等はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
5. 病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就職のための支援が受けられること
7. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
8. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
9. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
10. 一時的に必要な資金を借りられること
11. その他 ()
12. わからない

問25 子どものことや仕事のことなど、悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思ふことはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2. 携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3. メールマガジンで定期的に福祉制度や支援策等の情報を配信する
4. 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
5. 相談窓口等の数を多くする
6. 相談窓口等の場所をわかりやすくする
7. 相談窓口等について行きやすい雰囲気にする
8. 休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
9. 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
10. 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
11. 病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
12. 病院で具体的な助言等が受けられるようにする
13. 「こんにちは赤ちゃん訪問」などの子育て世帯に対する訪問事業を充実させる
14. 乳幼児健康診査を充実させる
15. その他 ()
16. わからない

問26 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。(下の枠の中に書いてください)

.....

.....

.....

アンケートは以上で終わりです。ありがとうございました。